

64

千代田区景観まちづくり重要物件

一誠堂書店

指定日 2024（令和6）年12月23日

所在地 神田神保町一丁目7番地6

設計者 東京都市建築研究所

竣工 1931（昭和6）年10月

文化財等
指定状況

-



▲一誠堂書店

歴史・文化的特徴

1913（大正2）年の神田の大火と1923（大正12）年の関東大震災、十余年の間に2回も焼け出された経験からそれまでの木造をやめ、鉄筋コンクリート造で当時としてできうる限りの強度を備えた店舗を1931（昭和6）年に竣工しました。

当時は古書業界では唯一の高層ビルとして話題を呼び、モダンな高層建築として雑誌『主婦の友』や『実業之日本』などにも紹介されました。

意匠・構造の特徴

1階・2階部分を店舗、3階・4階を住居部分となっています。1階部分の外壁は石材、2階以上はタイル張りです。最上部分には掲揚塔があり、深緑色の装飾材を多用し、正面入口の上部には金文字の屋号を入れたステンドグラスとなっています。

1階の床は大理石を用いた重厚感、2階の床は木製の温かみがあります。店舗2階へと続く階段は大理石造りで、立体的な装飾をあしらった丸みを帯びたデザイン。球体のアールデコ調の照明と良く調和しています。天井の漆喰塗の装飾はシンプルなデザイン。整然と美しく等間隔に配された多めの梁は、耐荷重性を重視する書店店舗ならではのものとなっています。

周辺景観との関係

東西に横断するシンボリックな通りである靖国通り沿道の古書店街に立地し、築90年を経て今もなお頑健さを保ち、賑わいと風格のある街並みを形成しています。